

和泉市立病院指定管理者評価委員会 平成 26 年度第二期中間とりまとめ

和 泉 市 長
辻 宏 康 様

平成 27 年 2 月 19 日(木) に開催された和泉市立病院指定管理者評価委員会における主な意見について、下記のとおりとりまとめました。指定管理者及び市事務局におかれては、これらの意見を踏まえて、市立病院の医療の向上に努められることを期待します。

平成 27 年 3 月 31 日

和泉市立病院指定管理者評価委員会
委員長 高 杉 豊

① 運営状況について

【指定管理者、市からの報告】

- ・4 月から 12 月までの実績について、前年度同期間と比較して、入院患者が約 2 割減、外来患者が約 1.2 割減となっている。入院、外来ともに外科系の泌尿器科、整形外科、外科に患者減となっている。
- ・収支状況について、医業収支は事業計画における計画値の水準に満たない結果となっている。

【意見】

- ・患者が大きく減少している外科系の医師確保について、泌尿器科、外科では 4 月以降も増員予定がない状況にあり、力をいれて取り組んでいただきたい。
- ・量も重要であるが、医療の質がどのように変化しているかが分かるよう、診療単価、紹介率、在院日数等の数値で他病院との比較した資料を出してもらいたい。
- ・直営時から改善された内容を PDCA の中で示していただきたい。数字だけでなく、そのプロセス・努力を評価していきたい。

② モニタリング結果について

【指定管理者、市からの報告】

- ・指定管理者の自己チェック結果として、事業計画と比べて低収益であること、救急の再開に至っていないこと、患者アンケートが未実施であることが、低評価となっている項目として示された。
- ・市によるチェック結果として、市は災害時医療についても政策医療として重視しており、職員訓練や他市への派遣も視野に入れた体制整備を期待しているため、現時点では低評価としている。

【意見】

(運営)

- ・事業計画の数値が未達成となっても、職員の削減や経費節減等、患者サービスの低下につながる方策を短期的な視点で選択するのではなく、中期的な視点で経営改善に努めていただきたい。

(医療サービス)

- ・公立病院として市民を守っていく立場にあることを、職員に対し朝礼等で繰り返し周知徹底するなど、意識改革を進めていただきたい。
- ・医師確保が最重要課題であり、研修医等の若手の医師を採用できるシステム作りが肝要である。
- ・地域医療との連携面で、患者紹介の際の受付の対応が良くなってきたと感じる。また、各開業医への市立病院の状況の情報提供や、医師会と連携した症例検討会の開催等、着実に努力しているものと評価している。

(施設利用サービス)

- ・市民公開講座の開催や、広報におけるPR等、積極的な広報活動を高く評価しており、継続して取り組んでいただきたい。
- ・誰が対応しても適切な接遇ができるようマニュアル化を行い、職員への個別的指導、全体的な教育の双方に尽力されたい。

(利用者の評価)

- ・患者アンケートについて、今回は徳洲会グループ全体での実施とのことだが、公立病院としての和泉市立病院に対する意見を頂戴できるよう、適宜修正してほしい。